

# 北海道観光入込客数調査報告書

平成16年度

観光入込客数(実人数) ..... 1頁

(参考)

観光入込客数(延べ人数) ..... 3頁

来道観光客数(実人数) ..... 6頁

訪日外国人来道者数

1 訪日外国人来道者数(実人数) ..... 7頁

2 訪日外国人来道宿泊者数(延べ人数) ..... 9頁

平成17年7月

北海道経済部観光のくにづくり推進室

# 北海道観光入込客数調査の内容と留意事項

## 1 観光入込客数調査について

本調査は、全国観光統計基準により道が定めた「北海道観光入込客数調査要領」に基づき、各市町村が調査を行った結果を集計したもので、半期毎に実施しています。

## 2 調査内容

### (1) 観光入込客数

#### ア 観光入込客数【実人数】

各市町村の観光入込客数や観光動態調査などにより推計した北海道における観光入込客の実人数

実人数：1人の観光客が1回の旅行で、5市町村を訪問している場合でも、1人と数えます。

#### イ 観光入込客数【延べ人数】

各市町村の観光入込客数を集計した観光入込客の延べ人数

延べ人数：市町村の実人数の単純合計

1人の観光客が1回の旅行で、5市町村を訪問している場合は、5人と数えます。

### (2) 来道観光客数

交通機関（航空機、フェリー、鉄道）の下り便の輸送実績を基に「来道観光客動態調査」などにより推計した来道観光客の実人数

### (3) 訪日外国人来道者数

北海道を訪れた外国人について、「宿泊施設調査」などにより推計した訪日外国人来道者数の実人数

## 3 利用上の留意事項

(1) 今回の調査は、平成16年度（H16.4～H17.3）を対象に行っており、4・5月を「春」、6月～9月を「夏」、10・11月を「秋」、12～3月を「冬」として、取り扱っています。

(2) 市町村ごとの観光入込客数調査では、実人数を推計していますが、「支庁の計」、「圏域の計」は延べ人数となっています。

(3) 各数字は、四捨五入のため合計が合致しない場合があります。

(4) 平成16年12月1日に誕生した新「函館市」については、合併前の市町村名（函館市、戸井町、恵山町、椴法華村、南茅部町）で取り扱っています。

## 観光入込客数（実人数）

平成16年度の観光入込客の総数（実人数）は、4,839万人となり、前年度の4,939万人に対し、98.0%となりました。

前年度から続く道内の厳しい経済状況を反映した旅行消費の低迷に加え、全国的な猛暑や大雪といった天候要因、大型台風による自然災害の影響などにより、道内客、道外客とも前年度に比べ減少しました。

道内客は、4,207万人（構成比86.9%）で前年度比97.7%と、減少幅が大きくなっていますが、道外客は、海外からの来道者が大幅に増加したことにより、632万人（構成比13.1%）で前年度比99.5%とわずかな減少に止まりました。

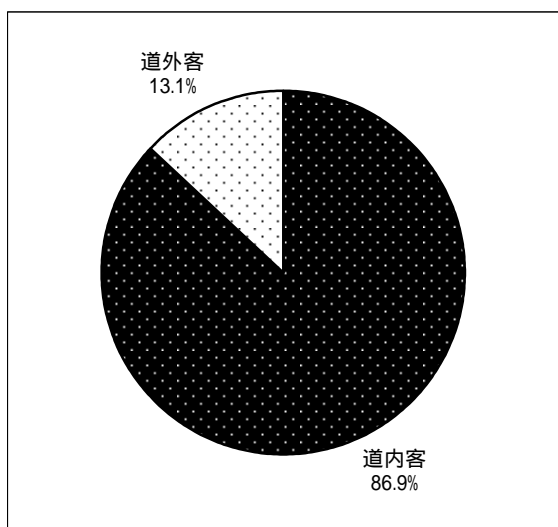
日帰り・宿泊客別にみると、日帰り客は3,348万人（構成比69.2%）で前年度比97.3%と減少幅が大きくなっていますが、宿泊客が道内客で99.6%、道外客でも99.5%とわずかな減少となったことから、宿泊客全体では1,491万人（構成比30.8%）で99.5%となっています。

季節別にみると、春季が前年度の104.1%、秋季が同101.1%と増加しましたが、夏季と冬季はそれぞれ同95.3%、98.3%と減少し、特に観光客の入込の集中する夏シーズンの落ち込みが全体に大きく影響しています。

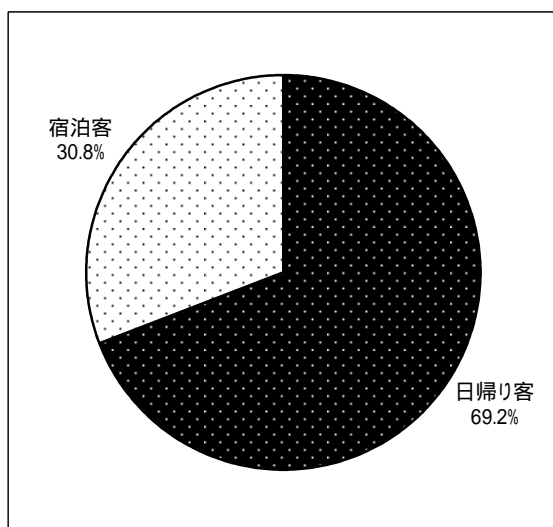
<平成16年度観光入込客数（実人数）>

| 区 分   | 観光入込     | 構成比    | 左の内訳     |          | 季節別内訳  |          |        |        |
|-------|----------|--------|----------|----------|--------|----------|--------|--------|
|       |          |        | 日帰り客     | 宿 泊 客    | 春      | 夏        | 秋      | 冬      |
| 道 外 客 | 632 万人   | 13.1%  | 2 万人     | 630 万人   | 83 万人  | 348 万人   | 72 万人  | 129 万人 |
|       | 構成比      | 100.0% | 0.3%     | 99.7%    | 13.1%  | 55.1%    | 11.4%  | 20.4%  |
|       | 前年比      | 99.5%  | 97.2%    | 99.5%    | 106.6% | 97.0%    | 99.5%  | 102.1% |
| 道 内 客 | 4,207 万人 | 86.9%  | 3,346 万人 | 861 万人   | 661 万人 | 2,118 万人 | 578 万人 | 850 万人 |
|       | 構成比      | 100.0% | 79.5%    | 20.5%    | 15.7%  | 50.3%    | 13.8%  | 20.2%  |
|       | 前年比      | 97.7%  | 97.3%    | 99.6%    | 103.8% | 95.1%    | 101.2% | 97.8%  |
| 合 計   | 4,839 万人 | 100.0% | 3,348 万人 | 1,491 万人 | 744 万人 | 2,466 万人 | 650 万人 | 979 万人 |
|       | 構成比      | 100.0% | 69.2%    | 30.8%    | 15.4%  | 51.0%    | 13.4%  | 20.2%  |
|       | 前年比      | 98.0%  | 97.3%    | 99.5%    | 104.1% | 95.3%    | 101.1% | 98.3%  |

【道内・道外客別構成比】



【日帰り・宿泊客別構成比】



【観光入込客数（実人数）の推移】

（上段：人数、下段：前年度比）

|      | 平成12年度   |       | 平成13年度   |        | 平成14年度   |        | 平成15年度   |       | 平成16年度   |       |
|------|----------|-------|----------|--------|----------|--------|----------|-------|----------|-------|
|      | 人数       | 前年度比  | 人数       | 前年度比   | 人数       | 前年度比   | 人数       | 前年度比  | 人数       | 前年度比  |
| 道外客  | 596 万人   | 93.9% | 627 万人   | 105.3% | 638 万人   | 101.8% | 635 万人   | 99.5% | 632 万人   | 99.5% |
| 道内客  | 4,266 万人 | 94.5% | 4,414 万人 | 103.5% | 4,370 万人 | 99.0%  | 4,304 万人 | 98.5% | 4,207 万人 | 97.7% |
| 日帰り客 | 3,396 万人 | 94.7% | 3,507 万人 | 103.3% | 3,498 万人 | 99.9%  | 3,442 万人 | 98.4% | 3,348 万人 | 97.3% |
| 宿泊客  | 1,466 万人 | 93.8% | 1,535 万人 | 104.7% | 1,510 万人 | 98.4%  | 1,497 万人 | 99.2% | 1,491 万人 | 99.5% |
| 計    | 4,862 万人 | 94.4% | 5,041 万人 | 103.7% | 5,009 万人 | 99.4%  | 4,939 万人 | 98.6% | 4,839 万人 | 98.0% |

## (参考) 観光入込客数(延べ人数)

### 1 総数

平成16年度の観光入込客の総数は、延べ1億3,837万人で、前年度の98.0%(280万人減)となりました。

### 2 道外・道内客別

道外客は、4,420万人で前年度比98.4%(74万人減)、道内客は、9,417万人で同97.9%(206万人減)となりました。

構成比で見ると、道外客が31.9%、道内客が68.1%となっています。

### 3 日帰り・宿泊客別

日帰り客は、1億1,057万人で前年度比97.8%(246万人減)、

宿泊客は、2,779万人で同98.8%(34万人減)となりました。

構成比で見ると、日帰り客が79.9%、宿泊客が20.1%となっています。

#### <平成16年度観光入込客数(延べ人数)>

| 区分   | 観光入込客数   | 前年度対比 | 増減数   | 構成比    |
|------|----------|-------|-------|--------|
| 総数   | 13,837万人 | 98.0% | 280万人 | 100.0% |
| 道外客  | 4,420万人  | 98.4% | 74万人  | 31.9%  |
| 道内客  | 9,417万人  | 97.9% | 206万人 | 68.1%  |
| 日帰り客 | 11,057万人 | 97.8% | 246万人 | 79.9%  |
| 宿泊客  | 2,779万人  | 98.8% | 34万人  | 20.1%  |

### 4 月別・季節別

月別にみると、8月が最も多く全体の15.9%を占め、次いで7月14.1%、9月11.0%の順となっています。4月が前年度比104.5%、5月が同101.9%、10月が同101.7%、11月が同100.5%と増加しました。

季節別にみると、夏季と冬季は前年度比95.8%、同98.1%と減少しましたが、春季と秋季は、前年度比102.8%、同101.3%と増加しました。

#### <月別・季節別観光入込客数(延べ人数)>

| 区分    | 春       |         | 夏       |         |         |         | 上期      |
|-------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
|       | 4月      | 5月      | 6月      | 7月      | 8月      | 9月      |         |
| 月別    | 697万人   | 1,425万人 | 1,373万人 | 1,947万人 | 2,199万人 | 1,524万人 | 9,165万人 |
| 構成比   | 5.0%    | 10.3%   | 9.9%    | 14.1%   | 15.9%   | 11.0%   | 66.2%   |
| 前年同期比 | 104.5%  | 101.9%  | 96.5%   | 95.7%   | 95.6%   | 95.6%   | 97.3%   |
| 季節別   | 2,122万人 |         | 7,043万人 |         |         |         | 9,165万人 |
| 構成比   | 15.3%   |         | 50.9%   |         |         |         | 66.2%   |
| 前年同期比 | 102.8%  |         | 95.8%   |         |         |         | 97.3%   |

| 区分    | 秋       |        | 冬       |       |       |       | 下期      | 年間合計     |
|-------|---------|--------|---------|-------|-------|-------|---------|----------|
|       | 10月     | 11月    | 12月     | 1月    | 2月    | 3月    |         |          |
| 月別    | 1,234万人 | 651万人  | 575万人   | 715万人 | 806万人 | 691万人 | 4,672万人 | 13,837万人 |
| 構成比   | 8.9%    | 4.7%   | 4.2%    | 5.2%  | 5.8%  | 5.0%  | 33.8%   | 100.0%   |
| 前年同期比 | 101.7%  | 100.5% | 96.4%   | 98.6% | 98.2% | 98.9% | 99.4%   | 98.0%    |
| 季節別   | 1,885万人 |        | 2,787万人 |       |       |       | 4,672万人 | 13,837万人 |
| 構成比   | 13.6%   |        | 20.1%   |       |       |       | 33.8%   | 100.0%   |
| 前年同期比 | 101.3%  |        | 98.1%   |       |       |       | 99.4%   | 98.0%    |

## 5 圏域別

圏域別にみると、前年度に比べ、十勝圏が101.3%と増加しましたが、他の圏域では減少しました。また、宿泊客延数では、道央圏が101.7%、オホーツク圏が100.2%と増加しています。各圏域の特徴は次のとおりです。

【道 央】5月の大型連休や夏季・秋季の好天により、イベント参加者や海水浴場などの屋外施設利用者の増加などプラス要因があったものの、昨年の新型コロナウイルス(SARS)の反動による海外旅行へのシフトや、猛暑や度重なる台風、大雪など自然災害の影響により、全体では減少しました。

【道 北】全国的にも人気となった旭川市旭山動物園の入込増や冬季のテレビ新番組のロケ地、自然体験型観光の増加などプラス要因があったものの、テレビドラマ効果の減退や、旭岳ロープウェイの故障による一時営業休止などの影響により、全体では減少しました。

【道 南】5月の大型連休や夏季の好天による海水浴場利用者の増加などプラス要因があったものの、8月以降の度重なる台風の影響、国内主要航空路線の減便、記録的な大雪などにより全体では減少しました。

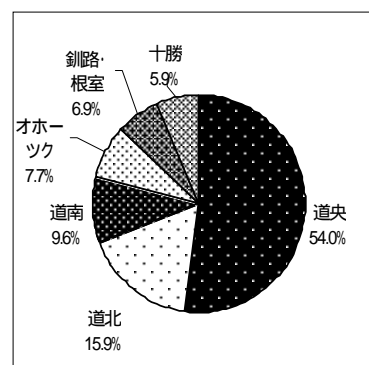
【オホーツク】広域連携イベント「オホーツクDOいなか博」の開催効果や流水砕氷観光船の人気により、関係市町村では増加となりましたが、7～8月の猛暑や度重なる台風の影響によりキャンプ場など屋外施設の利用者が減少したことから、ほぼ前年並みとなりました。

【釧路・根室】世界自然遺産登録候補地としての羅臼地域のPR効果や流水観光の増加などプラス要因があったものの、相次ぐ台風などの影響により、全体では減少しました。

【十 勝】世界ラリー選手権(WRC)など大型イベントの開催等により道外客が大幅に増加するとともに、昨年新設された道立十勝エコロジーパークや既存施設のリニューアル効果などにより日帰り客が増加し、全体でも増加しました。

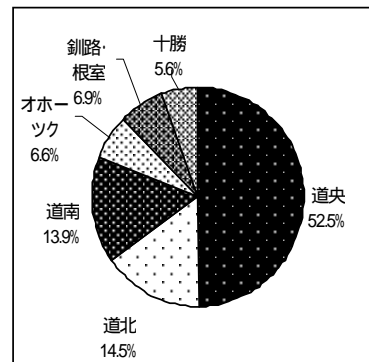
<観光入込客数(延べ人数) 圏域別構成比>

| 圏域別   | 観光入込客数    | 前年同期比  | 増減数    | 構成比    |
|-------|-----------|--------|--------|--------|
| 道 央   | 7,476 万人  | 98.5%  | 112 万人 | 54.0%  |
| 道 北   | 2,200 万人  | 96.4%  | 82 万人  | 15.9%  |
| 道 南   | 1,330 万人  | 95.5%  | 63 万人  | 9.6%   |
| オホーツク | 1,061 万人  | 99.1%  | 10 万人  | 7.7%   |
| 釧路・根室 | 950 万人    | 97.6%  | 24 万人  | 6.9%   |
| 十 勝   | 820 万人    | 101.3% | 11 万人  | 5.9%   |
| 合 計   | 13,837 万人 | 98.0%  | 280 万人 | 100.0% |



<宿泊客延数 圏域別構成比>

| 圏域別   | 宿泊客延数    | 前年同期比  | 増減数   | 構成比    |
|-------|----------|--------|-------|--------|
| 道 央   | 1,797 万人 | 101.7% | 30 万人 | 52.5%  |
| 道 北   | 495 万人   | 97.6%  | 12 万人 | 14.5%  |
| 道 南   | 477 万人   | 95.0%  | 25 万人 | 13.9%  |
| オホーツク | 225 万人   | 100.2% | 0 万人  | 6.6%   |
| 釧路・根室 | 236 万人   | 96.6%  | 8 万人  | 6.9%   |
| 十 勝   | 193 万人   | 95.8%  | 8 万人  | 5.6%   |
| 合 計   | 3,423 万人 | 99.3%  | 23 万人 | 100.0% |



## 6 市町村別

市町村別でみると、札幌市（定山溪を除く）が1,112万人（前年度比98.9%）で最も多く、次いで、小樽市754万人（同94.2%）、(旧)函館市507万人（同96.6%）以下、旭川市、喜茂別町、登別市、虻田町の順となっています。

一方、宿泊客延数でみると、札幌市（定山溪を除く）が798万人（前年度比102.3%）で最も多く、次いで、(旧)函館市386万人（96.0%）、札幌市（定山溪）197万人（同115.1%）以下、登別市、阿寒町、上川町、小樽市の順となっています。

<観光入込客数の多い市町村>

| 順位 | 市町村名     | 入込総数    | 前年同期比  |
|----|----------|---------|--------|
| 1  | 札幌市(定山溪) | 1,112万人 | 98.9%  |
| 2  | 小樽市      | 754万人   | 94.2%  |
| 3  | (旧)函館市   | 507万人   | 96.6%  |
| 4  | 旭川市      | 426万人   | 108.1% |
| 5  | 喜茂別町     | 328万人   | 93.8%  |
| 6  | 登別市      | 319万人   | 96.1%  |
| 7  | 虻田町      | 318万人   | 94.6%  |
| 8  | 上川町      | 255万人   | 99.2%  |
| 9  | 釧路市      | 255万人   | 100.9% |
| 10 | 帯広市      | 239万人   | 113.1% |
| 11 | 札幌市(定山溪) | 219万人   | 89.6%  |
| 12 | 七飯町      | 214万人   | 94.0%  |
| 13 | 白老町      | 203万人   | 111.2% |
| 14 | 富良野市     | 203万人   | 82.7%  |
| 15 | 千歳市      | 188万人   | 96.1%  |
| 16 | 壮瞥町      | 183万人   | 98.3%  |
| 17 | 網走市      | 182万人   | 96.8%  |
| 18 | 斜里町      | 158万人   | 101.7% |
| 19 | 阿寒町      | 156万人   | 91.9%  |
| 20 | 夕張市      | 152万人   | 95.0%  |

<宿泊客延数の多い市町村>

| 順位 | 市町村名     | 宿泊客延数 | 前年同期比  |
|----|----------|-------|--------|
| 1  | 札幌市(定山溪) | 798万人 | 102.3% |
| 2  | (旧)函館市   | 386万人 | 96.0%  |
| 3  | 札幌市(定山溪) | 197万人 | 115.1% |
| 4  | 登別市      | 141万人 | 91.6%  |
| 5  | 阿寒町      | 87万人  | 95.6%  |
| 6  | 上川町      | 85万人  | 99.3%  |
| 7  | 小樽市      | 80万人  | 99.7%  |
| 8  | 帯広市      | 77万人  | 96.1%  |
| 9  | 虻田町      | 70万人  | 94.9%  |
| 10 | 東川町      | 69万人  | 151.8% |
| 11 | 倶知安町     | 65万人  | 106.0% |
| 12 | 旭川市      | 61万人  | 91.3%  |
| 13 | 釧路市      | 61万人  | 105.2% |
| 14 | 斜里町      | 60万人  | 102.4% |
| 15 | 音更町      | 58万人  | 97.8%  |
| 16 | 網走市      | 57万人  | 94.2%  |
| 17 | 二セコ町     | 49万人  | 92.1%  |
| 18 | 富良野市     | 47万人  | 87.0%  |
| 19 | 弟子屈町     | 46万人  | 86.7%  |
| 20 | 留寿都村     | 45万人  | 103.6% |

## (参考) 来道観光客数(実人数)

### 1 概況

平成16年度の交通機関(航空機・フェリー・鉄道)の下り便の輸送実績をもとに推計した来道観光客数は、632万人で、前年度の635万人に対し99.5%となっています。

季節別でみると、春季は前年度比105.1%、冬季同102.4%と増加しましたが、夏季は同97.2%、秋季同98.6%と減少しました。

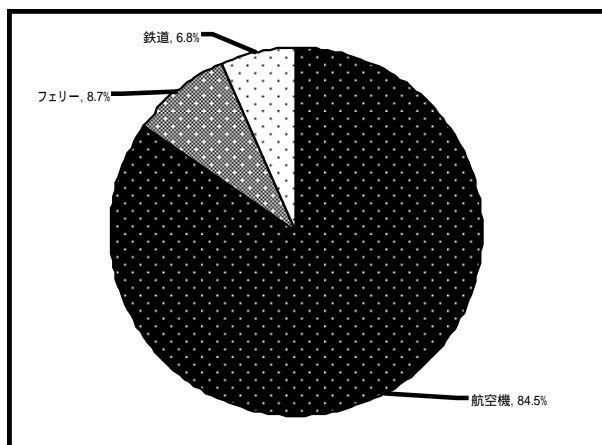
### 2 交通機関別の状況

交通機関別にみると、フェリー(構成比8.7%)及び鉄道(同6.8%)が、前年度比100%と横ばいでしたが、航空機(同84.5%)は、前年度比99.4%と減少しました。

#### <平成16年度来道観光客数(交通機関別・季節別)>

| 区分   |        | 合計     | 構成比    | 春(4月・5月) | 夏(6月~9月) | 秋(10月・11月) | 冬(12月~3月) |
|------|--------|--------|--------|----------|----------|------------|-----------|
| 合計   | 来道観光客数 | 632万人  | 100.0% | 82万人     | 348万人    | 72万人       | 130万人     |
|      | 構成比    | 100.0% |        | 13.1%    | 55.0%    | 11.4%      | 20.5%     |
|      | 前年度対比  | 99.5%  |        | 106.6%   | 97.0%    | 99.5%      | 102.1%    |
| 航空機  | 来道観光客数 | 534万人  | 84.5%  | 66万人     | 292万人    | 62万人       | 114万人     |
|      | 構成比    | 100.0% |        | 12.4%    | 54.7%    | 11.5%      | 21.3%     |
|      | 前年度対比  | 99.4%  |        | 105.9%   | 96.4%    | 100.2%     | 103.6%    |
| フェリー | 来道観光客数 | 55万人   | 8.7%   | 9万人      | 35万人     | 4万人        | 7万人       |
|      | 構成比    | 100.0% |        | 16.2%    | 63.1%    | 8.0%       | 12.7%     |
|      | 前年度対比  | 100.3% |        | 110.7%   | 99.1%    | 96.2%      | 97.2%     |
| 鉄道   | 来道観光客数 | 43万人   | 6.8%   | 7万人      | 21万人     | 6万人        | 9万人       |
|      | 構成比    | 100.0% |        | 17.1%    | 48.3%    | 14.4%      | 20.2%     |
|      | 前年度対比  | 99.6%  |        | 107.8%   | 103.6%   | 95.5%      | 88.6%     |

#### 【交通機関別構成比】





## (参考) 訪日外国人来道者数

### 1 訪日外国人来道者数(実人数)

#### (1) 概況

平成16年度の訪日外国人来道者数は、実人数で42万7,050人で、前年度の29万3,780人に対し145.4%と大幅に増加しました。

前年の新型肺炎(SARS)の影響による旅行の手控え傾向が解消され、その反動が訪日来道客の増加を後押ししたほか、中国をはじめ東アジア各国の訪日査証発給等の緩和措置がとられたことや、ビジット・ジャパン・キャンペーン事業の展開に加え、行政、民間事業者、関係団体などが連携して積極的に海外プロモーション活動を推進したことなどの効果もあって、年間を通じて大幅な増加となりました。

#### (2) 国・地域別

本道観光の主要市場であるアジア地域からの来道者は、37万8,500人で前年度(25万1,550人)の150.5%と大幅に増加しました。

前年度初めに猛威を振るったSARS感染地域の台湾、中国(香港)、中国からの来道者数は前年度の大幅減の反動に加え、訪日査証発給等の緩和措置により、大きく増加しましたが、非感染国の韓国からの来道者数は、前年のSARS感染地域を避け旅行先を本道に振り替えたことによるプラス効果が消え、微増となりました。

国・地域別にみると、台湾が20万8,600人(前年度比174.2%、構成比48.8%)と最も多く、次いで、中国(香港)が8万2,750人(同146.2%、19.4%)、韓国が6万3,850人(同104.3%、15.0%)の順となっています。

【台湾】 SARSにより来道者数が減少した前年度の反動や高い北海道旅行人気に支えられ、道内各地へのチャーター便が大幅な増加となったほか、新千歳空港との定期便の増便の効果もあって、大幅に増加しました。

【中国(香港)】 SARSによる影響が解消されたことや北海道旅行人気に加え、4月からの訪日査証免除、定期便の増便や旅行料金低下効果もあって、大幅に増加しました。

【中国】 都市部の急速な経済成長を背景に、北海道旅行人気の高まりもあったほか、中国人の訪日修学旅行参加者への査証免除や訪日団体観光旅行の査証発給対象地域が拡大したことにより、大幅に増加しました。

【韓国】 前年度は、SARS感染地域を避け、旅行先を本道へ振り替えたため大幅増となりましたが、今年度は、中国など他のアジア地域との競合、猛暑によるゴルフツアーの手控えなどのマイナス要因が重なり、冬季は盛り返したものの、結果としては微増となりました。

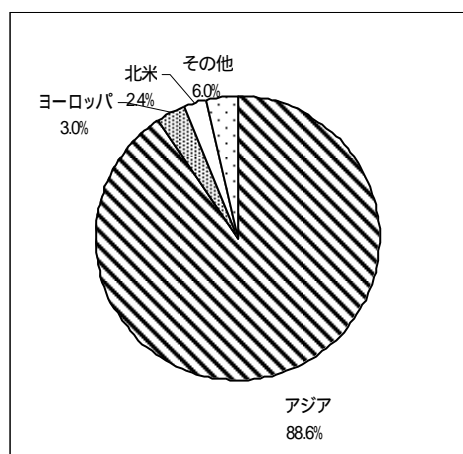
【オーストラリア】 本道へのスキーツアー(ニセコ)が人気を集めており、昨年度に引き続き大幅に増加しました。

<平成16年度訪日外国人来道者数(実人数)>

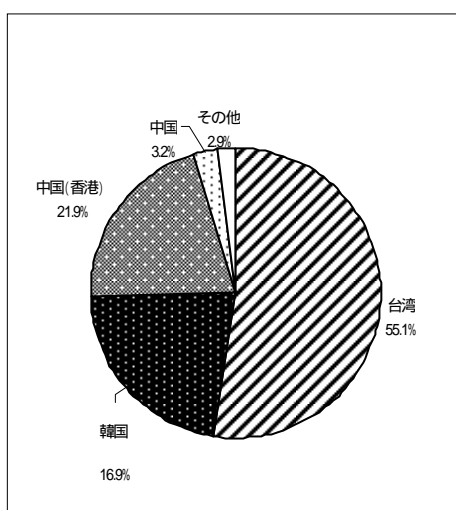
(単位:人)

| 区 分             |      | ア ジ ア  |        |         |        |             |        | ヨ ー ロ ッ パ |        | 北 米    |        | 中 南 米  | ア フ リ カ | オ セ ア ニ ア |               | 不 明    | 合 計    |         |
|-----------------|------|--------|--------|---------|--------|-------------|--------|-----------|--------|--------|--------|--------|---------|-----------|---------------|--------|--------|---------|
|                 |      | 中 国    | 韓 国    | 台 湾     | 香 港    | シ ン ガ ポ ー ル | そ の 他  | 小 計       | ロ シ ア  | そ の 他  | 米 国    |        |         | カ ナ ダ     | オ ー ス ト ラ リ ア |        |        | そ の 他   |
| 春 季<br>(4・5月)   | 16年度 | 1,300  | 4,050  | 24,300  | 8,800  | 550         | 400    | 39,400    | 900    | 800    | 1,000  | 100    | 50      | 50        | 100           | 50     | 1,600  | 44,050  |
|                 | 15年度 | 450    | 2,900  | 4,150   | 1,800  | 150         | 400    | 9,850     | 1,000  | 700    | 700    | 100    | 50      | 50        | 100           | 50     | 900    | 13,500  |
|                 | 前年度比 | 288.9% | 139.7% | 585.5%  | 488.9% | 366.7%      | 100.0% | 400.0%    | 90.0%  | 114.3% | 142.9% | 100.0% | 100.0%  | 100.0%    | 100.0%        | 100.0% | 177.8% | 326.3%  |
| 夏 季<br>(6~9月)   | 16年度 | 3,650  | 38,700 | 75,900  | 30,600 | 1,350       | 1,550  | 151,750   | 3,300  | 2,400  | 3,300  | 450    | 250     | 150       | 500           | 200    | 4,950  | 167,250 |
|                 | 15年度 | 2,000  | 43,400 | 40,900  | 24,100 | 1,200       | 1,650  | 113,250   | 3,600  | 2,750  | 4,000  | 400    | 250     | 150       | 500           | 250    | 8,600  | 133,750 |
|                 | 前年度比 | 182.5% | 89.2%  | 185.6%  | 127.0% | 112.5%      | 93.9%  | 134.0%    | 91.7%  | 87.3%  | 82.5%  | 112.5% | 100.0%  | 100.0%    | 100.0%        | 80.0%  | 57.6%  | 125.0%  |
| 秋 季<br>(10・11月) | 16年度 | 2,250  | 6,000  | 33,100  | 7,800  | 1,000       | 1,150  | 51,300    | 950    | 850    | 1,450  | 150    | 50      | 50        | 200           | 100    | 650    | 55,750  |
|                 | 15年度 | 1,250  | 5,800  | 26,500  | 5,250  | 700         | 550    | 40,050    | 1,050  | 900    | 1,100  | 150    | 50      | 100       | 100           | 50     | 600    | 44,150  |
|                 | 前年度比 | 180.0% | 103.4% | 124.9%  | 148.6% | 142.9%      | 209.1% | 128.1%    | 90.5%  | 94.4%  | 131.8% | 100.0% | 100.0%  | 50.0%     | 200.0%        | 200.0% | 108.3% | 126.3%  |
| 冬 季<br>(12~3月)  | 16年度 | 4,850  | 15,100 | 75,300  | 35,550 | 3,100       | 2,150  | 136,050   | 1,550  | 2,150  | 3,350  | 400    | 50      | 50        | 13,850        | 450    | 2,100  | 160,000 |
|                 | 15年度 | 2,100  | 9,100  | 48,200  | 25,450 | 1,950       | 1,600  | 88,400    | 1,300  | 2,050  | 2,050  | 280    | 50      | 50        | 6,850         | 200    | 1,150  | 102,380 |
|                 | 前年度比 | 231.0% | 165.9% | 156.2%  | 139.7% | 159.0%      | 134.4% | 153.9%    | 119.2% | 104.9% | 163.4% | 142.9% | 100.0%  | 100.0%    | 202.2%        | 225.0% | 182.6% | 156.3%  |
| 合 計             | 16年度 | 12,050 | 63,850 | 208,600 | 82,750 | 6,000       | 5,250  | 378,500   | 6,700  | 6,200  | 9,100  | 1,100  | 400     | 300       | 14,650        | 800    | 9,300  | 427,050 |
|                 | 15年度 | 5,800  | 61,200 | 119,750 | 56,600 | 4,000       | 4,200  | 251,550   | 6,950  | 6,400  | 7,850  | 930    | 400     | 350       | 7,550         | 550    | 11,250 | 293,780 |
|                 | 前年度比 | 207.8% | 104.3% | 174.2%  | 146.2% | 150.0%      | 125.0% | 150.5%    | 96.4%  | 96.9%  | 115.9% | 118.3% | 100.0%  | 85.7%     | 194.0%        | 145.5% | 82.7%  | 145.4%  |

【地域別構成比】



【アジア地域内構成比】



【外国人来道者数(実人数)の推移】

(上段:人数、下段:前年度比)

|                      |              | 平成12年度             | 平成13年度             | 平成14年度             | 平成15年度             | 平成16年度             |
|----------------------|--------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| ア ジ ア                | 台 湾          | 109,700人<br>90.7%  | 119,450人<br>108.9% | 133,200人<br>111.5% | 119,750人<br>89.9%  | 208,600人<br>174.2% |
|                      | 中 国<br>(香 港) | 29,400人<br>141.3%  | 45,900人<br>156.1%  | 55,450人<br>120.8%  | 56,600人<br>102.1%  | 82,750人<br>146.2%  |
|                      | 韓 国          | 19,900人<br>111.8%  | 27,850人<br>139.9%  | 41,900人<br>150.4%  | 61,200人<br>146.1%  | 63,850人<br>104.3%  |
|                      | 中 国          | 2,400人<br>114.3%   | 3,900人<br>162.5%   | 5,200人<br>133.3%   | 5,800人<br>111.5%   | 12,050人<br>207.8%  |
|                      | そ の 他        | 6,200人<br>157.0%   | 5,450人<br>87.9%    | 7,050人<br>129.4%   | 8,200人<br>116.3%   | 11,250人<br>137.2%  |
| ア メ リ カ              |              | 8,350人<br>113.6%   | 6,950人<br>83.2%    | 7,500人<br>107.9%   | 7,850人<br>104.7%   | 9,100人<br>115.9%   |
| ロ シ ア                |              | 6,100人<br>95.3%    | 6,100人<br>100.0%   | 6,800人<br>111.5%   | 6,950人<br>102.2%   | 6,700人<br>96.4%    |
| オ ー ス ト ラ リ ア        |              | 3,700人<br>127.6%   | 1,550人<br>41.9%    | 2,230人<br>143.9%   | 7,550人<br>338.6%   | 14,650人<br>194.0%  |
| そ の 他<br>(不 明 を 含 む) |              | 20,850人<br>96.1%   | 18,950人<br>90.9%   | 20,020人<br>105.6%  | 19,880人<br>99.3%   | 18,100人<br>91.0%   |
| 合 計                  |              | 206,600人<br>101.3% | 236,100人<br>114.3% | 279,350人<br>118.3% | 293,780人<br>105.2% | 427,050人<br>145.4% |

## 2 訪日外国人来道宿泊者数（延べ人数）

### （1）概況

平成16年度の訪日外国人来道宿泊者数は、134万3,152人で、前年度比151.8%と大幅に増加しました。

国・地域別にみると、台湾が71万701人（前年度比173.0%）と最も多く、次いで中国（香港）が29万5,987人（同148.9%）、韓国が11万2,253人（同103.4%）となっています。

### <平成16年度訪日外国人来道宿泊者数（延べ人数）>

（単位：人）

|       | ア ジ ア  |         |         |         |        |        |           | ヨ ー ロ ッ パ |        |        |       |        |        |
|-------|--------|---------|---------|---------|--------|--------|-----------|-----------|--------|--------|-------|--------|--------|
|       | 中国     | 韓国      | 台湾      | 中国(香港)  | シンガポール | その他    | 小計        | ロシア       | イギリス   | フランス   | ドイツ   | その他    | 小計     |
| 16年度  | 34,203 | 112,253 | 710,701 | 295,987 | 21,642 | 18,751 | 1,193,537 | 11,047    | 4,395  | 3,290  | 3,019 | 11,345 | 33,096 |
| 15年度  | 17,079 | 108,559 | 410,893 | 198,804 | 14,216 | 14,592 | 764,143   | 10,876    | 3,734  | 2,264  | 5,037 | 11,150 | 33,061 |
| 前年同期比 | 200.3% | 103.4%  | 173.0%  | 148.9%  | 152.2% | 128.5% | 156.2%    | 101.6%    | 117.7% | 145.3% | 59.9% | 101.7% | 100.1% |

|       | 北 米    |        | 中南米    | アフリカ  | オセアニア  |        | 不明     | 合計        |
|-------|--------|--------|--------|-------|--------|--------|--------|-----------|
|       | 米国     | カナダ    |        |       | 豪州     | その他    |        |           |
| 16年度  | 32,655 | 3,906  | 1,259  | 745   | 52,571 | 2,524  | 22,859 | 1,343,152 |
| 15年度  | 28,225 | 3,031  | 1,084  | 987   | 27,190 | 1,923  | 25,003 | 884,647   |
| 前年同期比 | 115.7% | 128.9% | 116.1% | 75.5% | 193.3% | 131.3% | 91.4%  | 151.8%    |

### （2）月別・季節別

月別にみると、2月が最も多く、全体の14.2%を占め、次いで7月の12.2%、8月の10.9%の順となっています。前年度と比べると全ての月で増加していますが、前年度のSARSの影響で激減した反動により、5月が428.8%、次いで6月が353.8%、4月が312.5%と大幅な増加となっています。

季節別にみると、春季は前年同期の371.8%と大幅に増加し、他の季節も、冬季156.6%、夏季135.2%、秋季131.9%と増加しています。

### <月別・季節別訪日外国人来道宿泊者数（延べ人数）>

（単位：人）

| 区 分   | 春       |        |         | 夏       |         |        |         | 上期計     |
|-------|---------|--------|---------|---------|---------|--------|---------|---------|
|       | 4月      | 5月     | 6月      | 7月      | 8月      | 9月     |         |         |
| 月 別   | 51,739  | 73,741 | 100,002 | 164,135 | 146,591 | 83,555 | 619,763 |         |
| 構成比   | 3.9%    | 5.5%   | 7.4%    | 12.2%   | 10.9%   | 6.2%   | 46.1%   |         |
| 前年同期比 | 312.5%  | 428.8% | 353.8%  | 131.7%  | 110.6%  | 104.5% | 155.2%  |         |
| 季節別   | 125,480 |        |         | 494,283 |         |        |         | 619,763 |
| 構成比   | 9.3%    |        |         | 36.8%   |         |        |         | 46.1%   |
| 前年同期比 | 371.8%  |        |         | 135.2%  |         |        |         | 155.2%  |

| 区 分   | 秋       |        | 冬       |         |         |        | 下期計     | 年間合計      |
|-------|---------|--------|---------|---------|---------|--------|---------|-----------|
|       | 10月     | 11月    | 12月     | 1月      | 2月      | 3月     |         |           |
| 月 別   | 120,388 | 76,642 | 131,094 | 116,955 | 190,840 | 87,470 | 723,389 | 1,343,152 |
| 構成比   | 9.0%    | 5.7%   | 9.8%    | 8.7%    | 14.2%   | 6.5%   | 53.9%   | 100.0%    |
| 前年同期比 | 124.9%  | 144.7% | 142.7%  | 103.4%  | 215.9%  | 204.7% | 149.0%  | 151.8%    |
| 季節別   | 197,030 |        | 526,359 |         |         |        | 723,389 | 1,343,152 |
| 構成比   | 14.7%   |        | 39.2%   |         |         |        | 53.9%   | 100.0%    |
| 前年同期比 | 131.9%  |        | 156.6%  |         |         |        | 149.0%  | 151.8%    |

(3) 圏域別

圏域別にみると、全圏域において、前年度対比で大幅な増加となりました。

道央圏が161.8%と最も高く、次いで十勝圏が157.2%、釧路・根室圏が150.8%、道北圏が137.3%の順となっています。

< 圏域別訪日外国人来道宿泊延べ数 >

(単位：人、%)

|       | ア ジ ア  |         |         |         |        |        |           | ヨ ー ロ ッ パ |       |       |       |        |        |
|-------|--------|---------|---------|---------|--------|--------|-----------|-----------|-------|-------|-------|--------|--------|
|       | 中国     | 韓国      | 台湾      | 中国(香港)  | シンガポール | その他    | 小計        | ロシア       | イギリス  | フランス  | ドイツ   | その他    | 小計     |
| 道南    | 2,337  | 4,700   | 29,483  | 18,730  | 2,294  | 1,273  | 58,817    | 560       | 510   | 140   | 71    | 303    | 1,584  |
| 道央    | 27,644 | 88,355  | 400,135 | 234,947 | 12,315 | 13,752 | 777,148   | 3,442     | 2,541 | 2,615 | 2,180 | 9,102  | 19,880 |
| 道北    | 1,922  | 7,309   | 130,964 | 25,133  | 2,166  | 1,632  | 169,126   | 1,597     | 319   | 174   | 211   | 742    | 3,043  |
| オホーツク | 659    | 1,826   | 18,539  | 7,091   | 255    | 295    | 28,665    | 527       | 134   | 71    | 287   | 218    | 1,237  |
| 十勝    | 407    | 3,382   | 69,519  | 5,164   | 1,799  | 1,081  | 81,352    | 15        | 567   | 140   | 105   | 213    | 1,040  |
| 釧路・根室 | 1,234  | 6,681   | 62,061  | 4,922   | 2,813  | 718    | 78,429    | 4,906     | 324   | 150   | 165   | 767    | 6,312  |
| 合計    | 34,203 | 112,253 | 710,701 | 295,987 | 21,642 | 18,751 | 1,193,537 | 11,047    | 4,395 | 3,290 | 3,019 | 11,345 | 33,096 |

|       | 北 米    |       | 中南米   | アフリカ | オセアニア  |       | 不明     | 合計        | 前年同期比  | 15年度    |
|-------|--------|-------|-------|------|--------|-------|--------|-----------|--------|---------|
|       | 米国     | カナダ   |       |      | 豪州     | その他   |        |           |        |         |
|       | 道南     | 2,230 | 287   | 41   | 18     | 375   | 70     | 631       | 64,053 | 104.5   |
| 道央    | 24,344 | 3,041 | 804   | 330  | 50,191 | 1,967 | 18,694 | 896,399   | 161.8  | 554,011 |
| 道北    | 2,216  | 233   | 27    | 18   | 771    | 79    | 396    | 175,909   | 137.3  | 128,126 |
| オホーツク | 1,191  | 74    | 31    | 34   | 291    | 236   | 351    | 32,110    | 115.8  | 27,737  |
| 十勝    | 711    | 136   | 177   | 256  | 667    | 99    | 2,639  | 87,077    | 157.2  | 55,380  |
| 釧路・根室 | 1,963  | 135   | 179   | 89   | 276    | 73    | 148    | 87,604    | 150.8  | 58,087  |
| 合計    | 32,655 | 3,906 | 1,259 | 745  | 52,571 | 2,524 | 22,859 | 1,343,152 | 151.8  | 884,647 |

(4) 市町村別

市町村別にみると、有名温泉地を抱える市町村が上位を占めており、札幌市が38万1,288人(前年度比171.4%)で最も多く、次いで、登別市13万2,165人(同159.5%)、上川町9万2,022人(同161.6%)、虻田町9万9,855人(同172.3%)、壮瞥町7万8,313人(同162.9%)となっています。

【宿泊延べ数の多い上位5ヶ国】

| 順位 | 国名      | 宿泊延べ数    | 前年度比   |
|----|---------|----------|--------|
| 1  | 台湾      | 710,701人 | 173.0% |
| 2  | 中国(香港)  | 295,987人 | 148.9% |
| 3  | 韓国      | 112,253人 | 103.4% |
| 4  | オーストラリア | 52,571人  | 193.3% |
| 5  | 中国      | 34,203人  | 200.3% |

【訪日外国人宿泊延べ数の多い市町村】

| 順位 | 市町村名 | 宿泊延べ数    | 前年度比   |
|----|------|----------|--------|
| 1  | 札幌市  | 381,288人 | 171.4% |
| 2  | 登別市  | 132,165人 | 159.5% |
| 3  | 上川町  | 92,022人  | 161.6% |
| 4  | 虻田町  | 90,985人  | 172.3% |
| 5  | 壮瞥町  | 78,313人  | 162.9% |

【台湾の宿泊延べ数の多い市町村】

| 順位 | 市町村名 | 宿泊延べ数    | 前年度比   |
|----|------|----------|--------|
| 1  | 札幌市  | 166,626人 | 251.7% |
| 2  | 上川町  | 85,011人  | 176.4% |
| 3  | 登別市  | 73,596人  | 268.7% |
| 4  | 壮瞥町  | 52,838人  | 182.5% |
| 5  | 阿寒町  | 49,579人  | 156.2% |

【中国(香港)の宿泊延べ数の多い市町村】

| 順位 | 市町村名 | 宿泊延べ数    | 前年度比   |
|----|------|----------|--------|
| 1  | 札幌市  | 116,024人 | 171.6% |
| 2  | 虻田町  | 38,448人  | 197.1% |
| 3  | 登別市  | 28,769人  | 102.0% |
| 4  | 小樽市  | 14,849人  | 149.0% |
| 5  | 鹿部町  | 11,436人  | 145.5% |

【韓国の宿泊延べ数の多い市町村】

| 順位 | 市町村名 | 宿泊延べ数    | 前年度比   |
|----|------|----------|--------|
| 1  | 札幌市  | 24,923 人 | 112.5% |
| 2  | 登別市  | 21,032 人 | 89.9%  |
| 3  | 壮瞥町  | 15,953 人 | 111.6% |
| 4  | 留寿都村 | 9,306 人  | 89.8%  |
| 5  | ニセコ町 | 4,242 人  | 91.6%  |

【中国の宿泊延べ数の多い市町村】

| 順位 | 市町村別   | 宿泊延べ数    | 前年度比   |
|----|--------|----------|--------|
| 1  | 札幌市    | 15,791 人 | 231.1% |
| 2  | 壮瞥町    | 2,932 人  | 265.6% |
| 3  | 虻田町    | 2,802 人  | 203.5% |
| 4  | (旧)函館市 | 2,114 人  | 330.8% |
| 5  | 登別市    | 1,599 人  | 131.1% |

【ロシアの宿泊延べ数の多い市町村】

| 順位 | 市町村名 | 宿泊延べ数   | 前年度比   |
|----|------|---------|--------|
| 1  | 根室市  | 2,654 人 | 94.7%  |
| 2  | 釧路市  | 1,893 人 | 161.1% |
| 3  | 札幌市  | 1,614 人 | 59.0%  |
| 4  | 稚内市  | 1,270 人 | 95.6%  |
| 5  | 小樽市  | 1,152 人 | 130.3% |

【アメリカの宿泊延べ数の多い市町村】

| 順位 | 市町村名   | 宿泊延べ数    | 前年度比   |
|----|--------|----------|--------|
| 1  | 札幌市    | 16,121 人 | 109.6% |
| 2  | 千歳市    | 4,254 人  | 170.1% |
| 3  | (旧)函館市 | 2,029 人  | 152.9% |
| 4  | 登別市    | 809 人    | 101.6% |
| 5  | 旭川市    | 745 人    | 56.1%  |

【オーストラリアの宿泊延べ数の多い市町村】

| 順位 | 市町村名 | 宿泊延べ数    | 前年度比   |
|----|------|----------|--------|
| 1  | 倶知安町 | 44,813 人 | 190.6% |
| 2  | 札幌市  | 2,219 人  | 191.3% |
| 3  | 留寿都村 | 1,004 人  | 377.4% |
| 4  | ニセコ町 | 967 人    | 511.6% |
| 5  | 千歳市  | 518 人    | 301.2% |

## 北海道観光入込客数調査報告書 [平成 1 6 年度]

---

平成 1 7 年 7 月  
北海道経済部観光のくにづくり推進室  
札幌市中央区北 3 条西 6 丁目  
TEL 011-231-4111 内線 26-568  
FAX 011-232-4120

---